

今週のメニュー

[トピックス](#)

あしかがフラワーパークで塩ビリサイクル品が活躍

[随想](#)

オックスフォード便り（その6） - オックスフォードに春がやってきた！ -

関東学院大学 織 朱實

[お知らせ](#)

耐震・断熱改修を考えるセミナー in 新潟のご案内

[編集後記](#)

トピックス

あしかがフラワーパークで塩ビリサイクル品が活躍

当協会に、今年3月、塩ビリサイクル品の活用事例の紹介と使用に当たっての問合せがあり、その支援対応を行いました。（株）LINK PLANET社が扱っている軟質系の塩ビリサイクル品「プラネットシート」のレンタル事業で、あしかがフラワーパークの大藤が咲く時期に、臨時の駐車場を作るため、近隣の畑を利用してシートを敷設する計画があり、塩ビ製品の環境特性や安全面での説明をあしかがフラワーパークに行いました。関係者のご理解を得て、4月中旬に敷設が行われ、大藤を初め多くの花が咲く5月の連休時期に間に合いました。循環型社会を目指す塩ビ業界にあって、リサイクル事業の採算化は依然として難しい環境にあり、最前線で頑張っておられる企業を応援することが当協会の使命と考えています。

是非、満開の藤を眺めて、塩ビのリサイクル品が活躍しているところを訪問したいと願っていましたが、漸く、5月の連休後半にその機会が巡ってきました。当日は、横浜から上野経由で両毛線の富田に着き、

午前中にあしかがフラワーパークのゲートをくぐる事が出来ました。既に、観光バスや自家用車で来られた観光客も加えて園内は一杯になっていました。3月に訪問したときには数人がぱらぱらと園内をのどかに散策しているといった具合で、大藤の枝は葉も付けずに眠っていましたが、その広がり大きさに驚いたものです。それが今回は見事な花を広



げ、藤の花独特の垂れ下がる風情に圧倒されてしまいました。園内を巡るいたるところで花の香りに包まれ、藤以外にもつつじが彩りを添えて、多くの観光客が記念のスナップ写真を撮っておられました。

花に見とれながら、肝心の塩ビリサイクル品を敷設している駐車場に、西口ゲートから出て見に行きました。前回舗装工事を行っていた道路も完成し、空き地に多くの自家用車が駐車していました。その一部に、「プラネットシード」を敷設した駐車場が2面あり、入口の看板に「100%リサイクル樹脂利用、環境駐車場」と明示されていました。耕作前の田んぼが立派な駐車場に変わっていました。残念ながら、一部、前夜の雨でぬかるんでいたところもあり、予備の駐車場として活用されていましたが、立派な駐車広場になっていました。

今回敷設された「プラネットシード」は、昨年東京国立競技場で行われた石原裕次郎の23回忌法要でも使用されたそうで、史跡調査のための資材搬入路の石畳を保護した養生にも使われています。防災訓練用のヘリポートにも実績があり、その活躍が期待されます。

今回の敷設はレンタルによるものです。使用后、シートは製造元に戻され、洗浄され、次の用途で再使用されるのを待つこととなります。

今後も、このような活動に積極的に協力して、リサイクル事業が軌道に乗るように見守って行こうと考えています。(了)



このような場所が…



駐車場に早変わり



しかもエコ！

随想

オックスフォード便り(その6) - オックスフォードに春がやってきた! -

関東学院大学 織 朱實

長い冬が終わり、ようやく英国にも春がやってきたようです。日本の春と異なり、こちらには「いきなり初夏」で花々が咲き乱れるというのが通常のようなのですが、今年は30年ぶりという寒い冬だったせいでしょうか? 開花時期も遅れ、ようやくこの5月になって春らしくなってきました。

今は、ブルーベルの花が、あちらこちらの森に咲いています。写真のように、森の中に群生しているのですが、森に入ると、ふわーっと甘い香りが漂い、目の前に「青い絨毯」が広がって見えます。



満開の時期（まさに今がその時期なのですが）の森の様子は、本当に夢のようです。ブルーベルは「妖精の花」とも呼ばれていますが、確かに妖精がそっと花影に隠れていそうな、あるいはこの花の鈴を鳴らしていそうな雰囲気の花です。ケルト民話の中に、ブルーベルの森の中に迷い込んだ子供は帰らない、というのがありますが、私もブルーベルがあまりにも綺麗なので、「もっと奥にいけばもっと群生しているのでは？」とどンドン森の奥に踏み込んで、迷ってしまいそうになりました。

英国の人たちは、この「ブルーベル」を春の訪れを告げる「スノードロップス」と同様に、とても愛好していて（こんな可憐な花ですから当然ですよ）この時期はあちらこちらの森で「ブルーベル・ウォーキング」をしている人たちをみかけます。ガーデニングが盛んな英国では、このブルーベルも庭によく植えられているのですが、ほとんどは外来種の「スパニッシュ・ブルーベル」、純粹の（「イングリッシュ・ブルーベル」）がどンドン駆逐されているようです（イングリッシュ・ブルーベルは、写真のように垂れているのが特徴）。

ブルーベルが、初夏に向けての花なら、もうひとつの春を告げるお祭りが「メーデー」です。オックスフォードの「メーデー」は、オックスフォードの行事の中でも、もっとも明るく、楽しいお祭りの雰囲気がいっぱいイベントです。メーデーというと、日本では「労働者の日」というイメージが強く、私も新入社員のころ代々木公園に行った記憶がありますが、会社員勤め数年後に、組合のメーデー行事もなくなったので、今会社に勤めている人の中には知らない人も多いかもしれませんね。

欧州での「メーデー」は、「春を祝うお祭り」むしろ「五月祭」といったほうが、ぴったりです。パリでは、すずらんを胸に付けたりしていますが、ここオックスフォードでは、モードリアンカレッジの教会で祝祭ミサが行われ、高い塔の上から聖歌が流れてきます。この聖歌を聞くために、朝5時くらいから大勢の人がモードリアンカレッジの橋の上に集まり、聖歌が終わると、鐘がなりひびき、風船が飛ばされます。そして、それはそこ、学生の街ですから、橋の上から川に飛び込む若者が続出！川の水は、まだ冷たいのに裸で飛び込む猛者や、女の子の飛び込みもあつたりと、お祭り気分は盛り上がります。実際には、この川はかなり水深が浅く、危険なので警察もやめろと言っているのですが（橋の下に警察が待機しているのですが、積極的に止めさせないあたり『自己責任』の徹底した欧州スタイルでしょうか）、毎年飛び込む若者は後を絶たないようです。

そして、聖歌を聞き終えた町の人たちが、街に戻ると、街のあちらこちらで楽しいモリス・ダンスが始められています！モリス・ダンスは、英国発祥のフォークダンスで、おじ



さんたちが思い思いの春をイメージした衣装で、ハンカチや棒を持って、足に鈴をつけて踊ります。この時点で、まだ朝6時30分！早朝から、こんなハイテンションで踊りまくるお祭りを、私は他には知りません(笑)。オックスフォードの普段はいかめしい雰囲気のある建物の前で通行人も一緒になって、メイポールを囲んで踊ったり、手拍子をたたいたり、みんなにこここで、春の訪れを、どんなに英国の人たちが恋焦がれていたのか分かります。



春がやってくると、すぐに短い夏がきます。そして、長いと思っていた私の英国の在外研究期間の1年もあと4カ月です。残りの期間、少しでも、みなさんにオックスフォードの様子をお知らせできれば、と思っています。

ブルーベルの写真もっと見たい方は、私のブログもよろしければ見てください。

<http://akemiori.blog67.fc2.com/>

(つづく)

前回の「オックスフォード便り(その5)」は、下記からご覧頂けます。

http://www.vec.gr.jp/mag/266/mag_266.pdf

お知らせ

耐震・断熱改修を考えるセミナー in 新潟のご案内

・主な講演内容

1. 窓の断熱改修と住宅版エコポイントについて
2. 樹脂系外装材を利用した耐震改修について
3. 「木造住宅の外壁リフォームと耐震性能」

信州大学 工学部 准教授 五十田 博 氏

- ・日 時 : 2010年5月26日(水) 14:00~17:00
- ・場 所 : プラカ3 B1F(新潟市中央区天神1-1)
- ・締 切 : 5月21日(金)(参加無料)
- ・お問い合わせ(TEL) : 03(3297)5782

- ・樹脂サイディング普及促進委員会のHPもご覧ください。

<http://www.psiding.jp/>

編集後記

今週号は季節柄か、トピックス、随想とも花が主役となり、日本では藤、英国ではブルーベルと青い花の写真がメルマガを飾っています。我が家の庭にもようやく春が訪れ、昨年の10日遅れでクレマチスの花が咲きました。バラの花も蕾がふくらみ、開花の早い種類は一部咲き始めました。今年は蕾がでる頃に発生するアブラムシがほとんど見られず、異常気象のおかげで手間が省けましたが、花の形は残念ながら悪いような気がします。織先生は今頃イングリッシュローズを堪能しておられるのでは。羨ましいですね。(可)



クレマチス



バラ

関連リンク

[メールマガジンバックナンバー](#)

[メールマガジン登録](#)

[メールマガジン解除](#)



編集責任者 事務局長 東 幸次

東京都中央区新川 1-4-1

TEL 03-3297-5601

FAX 03-3297-5783

URL <http://www.vec.gr.jp>

E-MAIL info@vec.gr.jp